

バンクーバー便り 32～『高齢社会』

バンクーバー時間：2024年10月30日(水曜日)午前11時10分

日本時間：2024年10月31日(木曜日)午前03時10分

皆さんこんにちは。バンクーバー便り 32 をお届けします。

今回のテーマは『高齢社会』です。日本では急速な少子高齢化が問題になっています。殊に65歳以上の高齢者の人口における割合が14%以上になると高齢社会とされ、日本では1994年に、カナダでは2010年に高齢社会になりました。私も10月に喜寿を迎え、日本やカナダの高齢社会に寄与しています。

高齢社会は老化人口の増加を意味しており、老化のない高齢社会という夢のような時代が来ればよいのですが。老化は一言でいえば脳を含む身体機能の低下ということになります。大学講義で老化の話をするると機能低下というマイナス面が強調されるため、学生たちにはプラス面を考えるように課題を出していました。しかし様々なプラス面をあげても「とってつけた」ようで、いつも不満を感じていました。ところが最近、Face Book の投稿に素晴らしい英文(「加齢 AGING」)を見つけましたので、多くの方に読んでいただきたいと思い日本語に訳して以下に引用しました。投稿者は Hippie Hippie という方ですが執筆者なのか、または Sir David Frederick Attenborough (1926年5月生れの broadcaster 並びに naturalist で、BBC の自然史部局と連携して執筆した9つの“Life”シリーズが有名)のグループへの投稿であるため Sir Attenborough の執筆した文章の引用なのか、あるいは文章の内容から女性の執筆とも考えられることから掲載された写真の女性なのか、よくわかりません。英語の原文を添付しますので、真の執筆者をご存じの方がいれば教えてください。

加齢...

あなたは年老いている、と誰もが私に言った、あなたはもはやあなたではない、あなたは見放され、悲しく孤独だと。

私は何も答えなかった...

私は年老いてなんかいない、私は賢くなっているのだ。

私は他の者に好まれるような私になることをやめ、私になりたい者になった。

私は他の人に受け入れられることを求めるのをやめ、私自身を受け入れた。

私は情け容赦なく惑わず嘘つき鏡の数々を見捨てた。

—いいえ、私は年老いてきてはいない。

私はただ、場所、人、習慣、思想をもっと自由に選べるようになっていただけだ。

私は愛着、不必要な痛み、有害な人間、病んだ魂、腐った心を払いのける...恨みごとや不幸は私のためにならない、私はこのよう

なものを私の健康のために放出する。

私は不眠に甘んじることになる夜のパーティを断じた。

私は物語を生きることをやめ物語を書き始めた、押し付けられてきた型にはまることを脇に投げ捨てた。

私はアイシャドウをバッグに入れて持ち歩かなくなった、今は私の心を美しくする本を持っている。

私はワイングラスをコーヒーカップに替え、人生を理想化するのを忘れて人生を生きることを始めた。

—いいえ、私は年老いてきてはいない。

私は魂に新鮮さを、心に無垢さをもつことで、日々、新しい私を見つけ出せる。

私は繭という柔軟さを掴み、繭の羽化するとき、物質という浅薄さのみを追い求める人には到達できない別の場所に翅を広げる。

私は自然の素朴さを観るとき私の顔にあの魅力的な笑みが浮かぶ。

私は気持ちを明るくさせて散歩につきそってくれる小鳥たちのさえずりを耳に届ける。

—いいえ、私は年老いてきてはいない。

私は触れることのできないものに時間を賭けること、私に語りつけられた物語を書き直すこと、半開きにしたまま忘れていた古い

本を大切にしまっておくことを、選べるようになっていく。

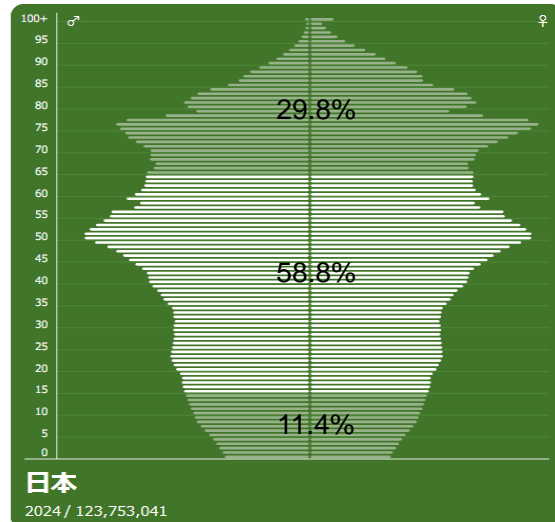
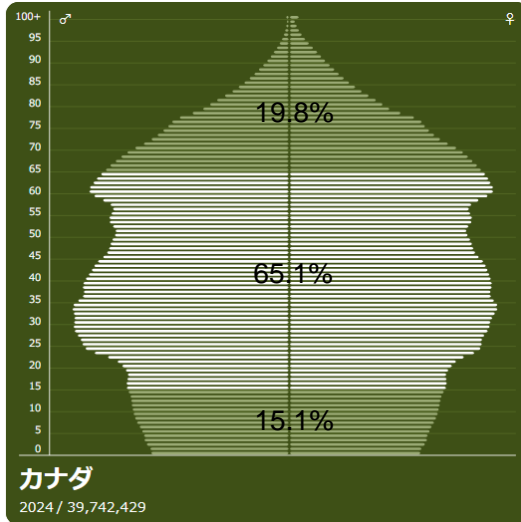
私はもっと用心深くなり、私に何も学ぶことのない怒りの爆発を抑えるようになり、先験的な物事について語ることを学び、知識を向上

させ、理想の種を植え、そして私の運命の誤りを正すことを学んでいる。

—いいえ、私は年老いてきてはいない。

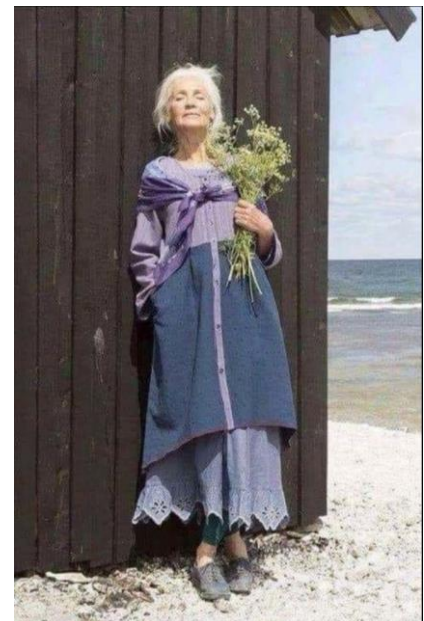
私は実際にある私を生き始めている。

参考までに、バンクーバーの人口ピラミッドは25歳代がピークで高齢社会はもう少し先のようなようです。



AGING....

You grow old, they told me, you are no longer you, you become distant, sad and lonely.
 I didn't answer...
 I don't get old, I get wise.
 I stopped being what others like me to become, but what I like to be.
 I stopped seeking the acceptance of others and accepted myself.
 I have left behind the lying mirrors that deceive mercilessly.
 - No, I'm not getting old.
 I just become more selective with places, people, customs and ideologies.
 I have let go of attachments, unnecessary pain, toxic people, sick souls and rotten hearts...
 bitterness and unhappiness are not for me, I release them for my health.
 I'm ditching party nights for learning and embracing insomnia.
 I stopped living stories and started writing them, I threw aside the imposed stereotypes.
 I no longer carry eyeshadow in my bag, now I have a book that beautifies my mind.
 I exchanged wine glasses for coffee cups, forgot to idealize life and started living it.
 - No, I'm not getting old.
 I carry freshness in my soul, innocence in my heart, and it discovers me daily.
 I have in my hands the tenderness of a cocoon that, when opened, will spread its wings to
 other places unreachable for those who seek only the frivolity of the material.
 I have that charming smile on my face when I observe the simplicity of nature.
 I carry in my ears the chirping of the birds that delight me and accompany the walk.
 - No, I'm not getting old.
 I become selective, betting my time on the intangible, rewriting the story I've been told,
 rediscovering worlds, saving those old books I've forgotten half open.
 I'm becoming more cautious, I've stopped the outbursts that teach me nothing, I'm
 learning to talk about transcendent things, I'm learning to cultivate knowledge, plant
 ideals and falsify my destiny.
 - No, I'm not getting old.
 I begin to live who I really am.~



Who is she? Is she the writer?

バンクーバー (ブリティッシュコロンビア州) の人口ピラミッド

